

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／フィールドスタディーズ (Field Studies)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	「虐待」をめぐるフィールドワーク		
担当者名 (Instructor)	江島 尚俊(EJIMA NAOTOSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOX2540	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	人数制限科目(20名) 2016年度以降入学者適用		

#### 授業の目標(Course Objectives)

社会学における重要な調査方法の1つ「インタビュー調査(=質的調査)」を実際に体験するのが本授業の目標です。調査テーマは「虐待」です。その上で

- ①フィールドワークの基礎的トレーニングを行うこと
- ②自身で設定した対象に質的調査(インタビュー調査)を実施すること

この2つを念頭に置きながら、学生が主体となってインタビュー調査を企画・実施することで、社会的なインタビュー調査を実体験してもらったと同時に、「虐待」とは何か?フィールドワークとは何か?を学んでもらうことに重きをおいています。

This class aims to provide experience in interview surveys (i.e., qualitative surveys), an important survey method in sociology. This Theme of survey is "abuse".

- (1) Carry out basic training for field work
- (2) Perform qualitative survey of subjects chosen by students (interview surveys)

With these two activities in mind, the course will place the emphasis on students taking the lead in planning and conducting interview surveys, to gain real experience in sociological interview surveys and to learn what abuse and what field work really is.

#### 授業の内容(Course Contents)

3~4人のグループを作り、グループ毎に東京近郊の調査対象(「虐待」支援を実施する施設やグループ)を選定した上で、

1. 事前の文献等調査
2. 質的調査についてのレクチャー(電話や書面などでのアプローチ法、質問用紙の作り方、お礼状の書き方など)
3. 対象施設へのアプローチ
4. 実際の調査
5. 調査の報告・発表

を行います。

普段はなかなか訪問できない場所にインタビュー調査として訪問できるのもこの授業の特色です。

After students form groups of 3-4 persons, each group will select survey topics in the Tokyo area and will perform the following:

1. Preliminary literature survey
2. Lectures on qualitative survey (methods of approach by telephone, writing, etc.; how to create questionnaires; how to write thank-you letters; etc.)
3. Approaches to facilities
4. Actual surveys
5. Reporting and presentation of surveys

The possibility to conduct interview surveys in places that are normally difficult to visit is another feature of the class.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション-「虐待」の定義と種類
2. 教員による講義-「虐待」に関する支援と課題

3. 「虐待」に関する調査の目的および調査対象を教員・学生間でディスカッション
4. 調査対象に関する事前調査①ー図書館・PC ルーム等での作業
5. 調査対象に関する事前調査②ー図書館・PC ルーム等での作業
6. 電話アポ、依頼状郵送のための準備
7. ゼミ内ロールプレイングーインタビューや発話の仕方、言葉遣いについてトレーニング
8. 調査対象および調査目的をゼミ内で発表
9. 実際に現地を訪問しインタビュー調査を実施①
10. 実際に現地を訪問しインタビュー調査を実施②
11. 調査終了後における御礼状発送、インタビュー文字起こし、調査報告発表会の準備
12. 調査報告発表会の準備
13. 調査報告発表会①
14. 調査報告発表会②

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

自分が関心をもつ対象や出来事について事前に考えておいてください(漠然としていてもOK)。授業外の学習および課題に関する指示は、必要に応じて別途指示します。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/授業への参加姿勢(30%)/提示課題への取り組み(30%)

#### テキスト(Textbooks)

特になし。必要な文献資料等は授業中に配布する。

#### 参考文献(Readings)

1. 杉山春、2017、『児童虐待から考える』、講談社 (ISBN:4022737433)
2. 篠原拓也、2019、『児童虐待の社会福祉学』、大学教育出版 (ISBN:4866920483)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

一言に「虐待」といっても、家庭内虐待(児童、親、夫婦、高齢者)や職場・学校、部活動など様々な場面での虐待が想定されますので、どのような場面での虐待に関心を持っているか、少しでもよいので事前に調べておいていただくと、授業に参加しやすくなります。

#### 注意事項(Notice)